



町民の声

「活力・力強さを
感じさせる町政を」

キララ・クラブ金山
(金山町老人クラブ連合会)

会長 天口 慶一 さん
(上台 86歳)

この冬は、暖冬、新型コロナウイルスと人の力の及ばない事態が発生している。土地改良区からは、小雪による節水の呼びかけも流れている。

さて、過日、当クラブ（15単位クラブ・会員数650名）と議員の語る会が行われた。その時、会員の方々から、町政の現況について旗幟鮮明、少々気を吐いて語り合った。

その理由は、戦後最長の景気の上向きが言われているが、地方はその格差だけが愚念される中、我が町の中にも、もう一つ明るさが見出せず、活力、力強さが、感じず、なにか物足りなさが漂って見える。

町が打ち出す政策が中止、延期が多いと思われる。

その一つが、中央公民館問題である。公民館大会で町長は、改築を宣言したが、2～3ヶ月後には、取り止め、延期。

これには、大勢が唾然とした。

町長発言とはもっと重みのあるものではないかなと首を傾げた。

議会の役割は何なのかとも思った。

高齢者組織としても、もう一度町政を勉強してみようとの語る会であった。

この機会を与えてくれた議会にお礼申し上げ、今後の活躍を期待したい。



老人クラブ連合会と議員の語る会の様子

議会新豆知識 No.4

●二元代表制とは

国民に選ばれた国会議員が首相を選んで組閣する「議員内閣制」と異なり、首長(町長)と議会議員を住民が直接選挙で選ぶ制度を「二元代表制」という。日本では全ての地方自治体が憲法の規定により一律で「二元代表制」をとっている。

直接選ばれた首長(町長)と議会議員はいずれも住民を代表しており、相互の抑制と均衡によって緊張感を持ちながら、議会は首長(町長)と対等の機関として、自治体の運営の基本的な方針を決定(議決)し、その執行を監視し、また積極的な政策提言を通して政策を形成していくことが「二元代表制」の本来の姿といわれる。

一方で、地方議会においても国会における与野党関係のようなものが見られるが、本来、制度的にはこうした関係が発生する仕組みにはなっていないが、現実的な対応の中で、国会のような疑似的な関係が生まれる土壌が存在しているといえる。いずれにしても、住民の福祉向上こそが共通の目的であり、認められた権限を存分に活かした議論によりその職責を果たすことこそが地方議会の使命と考える。

6月議会定例会は6月15日(月)～18日(木)の予定です

町民の皆様の傍聴をお待ちしています

日程は近くなりましたら町ホームページ内の議会ページでお知らせします。

ゼインコラム No.4

今冬は、予想外の少雪で、受け止め方も、それぞれあったと思います。

皆様には、健やかに過ごしの事と存じます。

3月定例会は、国内での「新型コロナウイルス」感染拡大を案じながらも、令和2年度の予算審議等、伯仲した議論が展開されました。その後、「新型コロナウイルス」は衰える事なく猛威を振り、世界中が脅かされています。東京五輪・パラリンピックの開催も課題山積の中、1年の延期。県内でも6日連続で13人(4/6現在)の感染者が公表されました。

特に、近隣自治体に急増、不要不急の外出自粛等を再確認して、町民・自分の身を守りましょう。
(文責・矢口政一)

発行責任者

柴田 清正

議会広報常任委員会

委員長 沼澤 道也
副委員長 星川 智子
委員 寒河江 宏一
中村 忠行
大場 洋介